

九州北部豪雨により亡くなられた皆様に謹んで哀悼の意を表しますとともに、
被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

九州、心をひとつに。

～東峰村災害ボランティアセンターへの職員派遣～

7月5日から6日にかけて、福岡県と大分県を中心とする九州北部で、記録的な集中豪雨が発生し、甚大な被害をもたらしました。

連日の厳しい暑さの中、被害が大きかった地域では、住民の方々が、避難所での生活を余儀なくされ、未だ、手がつけられないままの家屋も多く残されていました。



▲東峰村災害ボランティアセンター宝珠山サテライト（7月30日撮）

社会福祉協議会では、予期せぬ災害に備え、九州の社協間で、連携・協働して被災地の災害支援に取り組むための、『災害支援協定』を締結しており、広川町社会福祉協議会からも、東峰村福井地区に開設された「東峰村災害ボランティアセンター宝珠山サテライト」へ、職員派遣を行いました。

現地では、被災者からの支援要請の受付や、全国から駆け付けたボランティアの受け入れ、活動先の調整、送り出しなどをはじめとした『災害ボランティアセンター』の運営支援に携わり、関わられた全ての人の温さと、そして、支援の難しさを痛感いたしました。

また、この度の九州豪雨災害に伴い、本会（広川町保健・福祉センターはなやぎの里1階）の窓口に『福岡県・大分県豪雨災害義援金』の募金箱を設置いたしましたところ、住民の皆さまから、たくさんのご寄付をいただいております。

お寄せいただきました義援金は、福岡県共同募金会を通して、被災地の復旧・復興支援に役立てられます。

被災された地域の日も早い復旧・復興を心から願い、皆さまとともに、私共も、それぞれが、できる限りの支援を継続していきたいと考えております。



▲災害ボランティアセンター活動の様子



▲災害ボランティアセンター活動の様子



社会福祉法人 広川町社会福祉協議会
〒834-0115 福岡県八女郡広川町大字新代2165-1
TEL 0943-3213768 FAX 0943-3215530

ae 広川町
社協だより

ふれあいネットワーク



社協マークの意味
社会福祉および社協の「社」を図案化し、「手」とりあつて、明るくいしあわせな社会を建設する姿」を表現しています。



広川町社会福祉協議会 平成28年度 事業報告



平成28年度も、基本理念である「だれもが安心して健やかに暮らし続けていけるまちづくり」の実現に向けて、多種多様化する地域や住民の福祉ニーズ、その他あらゆる福祉課題を積極的にとらえ専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいりました。

基本目標 ①

みんなで支え合うまちづくり



目標達成のための主な取り組み

- 住民、福祉関係団体、事業者、行政、社協が役割分担をしながら、“ふくしのまちづくり”に取り組む地域包括ケアシステムの構築に向け、生活支援コーディネーターを設置し、住民主体の福祉活動の推進を図ることを目的とした「住民福祉座談会」や「地域カフェ」を実施しました。
- 住民の自立した在宅生活を支えるため、質の高い在宅福祉サービスの提供・介護予防の推進に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の推進に取り組みました。
- 地域の高齢者が健康で生きがいのある生活を送り、高齢者自身がその推進に取り組むことを目的とした「ひろかわ健康隊養成講座」を開催し、高齢者の生きがい健康づくり、高齢者が活躍できる地域づくりの推進に取り組みました。
- 福祉関係団体と地域福祉の重要性をともに考え、よりよい“ふくしのまちづくり”を進めていくために、団体活動の支援を行いました。

基本目標 ②

みんなが暮らしやすいまちづくり



目標達成のための主な取り組み

- 地域で暮らす認知症の方、またその家族の悩みごとや心配ごとに関する相談に応じるとともに、住民や様々な専門機関との連携のもと、「認知症講演会」や「介護者カフェ」（平成29年度から、誰でも集える「オレンジカフェ」へ移行）を開催し、支え合う仕組みづくりに取り組みました。
- 一人暮らしや高齢者夫婦世帯の実態把握訪問を行い、高齢者の生活課題、福祉課題の早期発見・早期対応に努めました。
- 認知症、知的障がい、精神障がい等で、判断能力が不十分のため、日常生活でお困りの方が、地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理の支援を行いました。
- 広川町の福祉関連情報が「誰でも、いつでも、どこにいても」効果的に得られ、幅広く周知されることを目的に、広報誌やホームページ等の様々な手段を用いて、福祉関連情報発信の充実を図りました。

基本目標

3

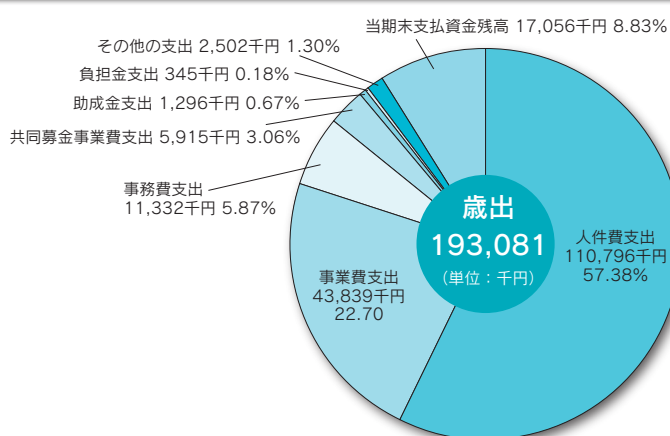
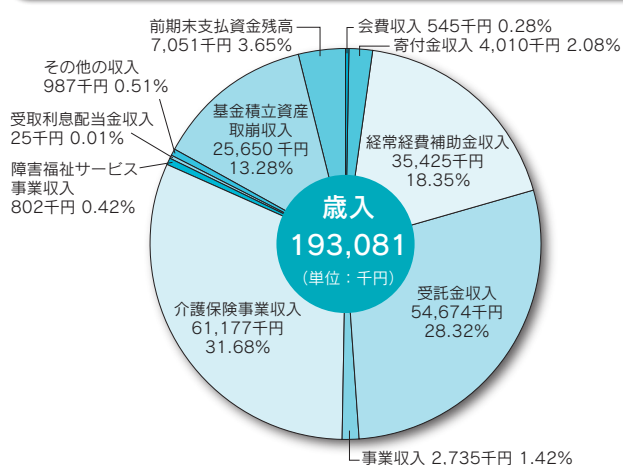
みんなで守り合うまちづくり



目標達成のための主な取り組み

- 平成28年4月に発生した熊本地震における福岡県内社会福祉協議会の災害支援として、益城町災害ボランティアセンターに職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援を行いました。
- 地域のサロン活動や福祉教育、ボランティア活動を通して、誰もが気軽に社会参加できる仕組みづくりに取り組みました。
- 町協働推進課と広川町ボランティア活動センター体制強化検討会議を開催し、平成29年度からの3カ年計画として、『広川町ボランティア活動センター運営計画』を策定しました。
- 生活資金に困窮し、支援を必要とする生活困難者に対し、暮らしの再建と、次なる支援へのつなぎを支える仕組みとして、福祉資金の貸付け・緊急的な食糧支援を行いました。

平成28年度 資金収支決算



平成29年度 資金収支予算

